

募集要項 第5回 葺賞学生 アイデアコンペティション

募集期間 令和2年2月1日～6月30日(6月30日消印有効)

第1回を1981年(昭和56年)に開催して以来、38年の歴史を持つ葺賞。日本の景観を美しく彩ってきた粘土瓦の新たな魅力を求めて数年に一度行い、今回で18回目を迎えます。第15回開催から次世代の建築を担う学生の方々を対象にした学生部門を新設し今回で5回目の開催となります。

粘土瓦は大地の恵みがもたらす土が素材であり、環境問題が叫ばれる現代において、人にも環境にもやさしい自然素材としてさまざまな可能性を秘めています。耐久性・断熱性をはじめ数々の特性を備え、優れた造形美で約1400年の間受け継がれてきた日本建築美。

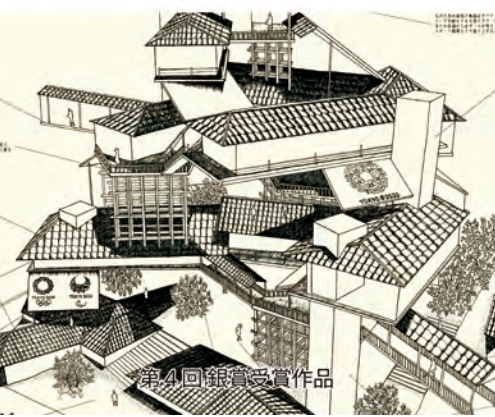
現代建築と融合したとき、その美しさは新たな魅力を放ち、発見と驚きをもたらしてくれます。粘土瓦という素晴らしい素材が、自由な発想でどのように活かされていくのか、皆さまの力作をお待ちしております。

主催 / 全国陶器瓦工業組合連合会 (一社) 全日本瓦工事業連盟

葺賞

iraka

題字書 / 岡本光平



受賞 学生部門

第5回 受賞学生アイデアコンペティション

賞 iraka 賞

募集要項

■課題 「新しい瓦が生み出す未来の日本」

この国の風土の中で培われてきた瓦。
これからの私たちの暮らしをより豊かにする「新たな瓦」が考えられないでしょうか。新しい瓦が生み出す、豊かな暮らしとその風景を考えてみてください。

■応募資格

- ・国内外の大学院、大学、高等専門学校又は各種専門学校で学んでいる学生
- ・グループによる応募も可

■募集期間

令和2年2月1日～6月30日(6月30日消印有効)

■提出物 以下のものを送付してください。

- (1)応募カード(ホームページからダウンロードしてください)
応募者情報をご記入ください。
- (2)応募作品

A1サイズ用紙1枚に、コンセプト、PRポイント等を記載し、平面図、配置図、立面図、パース、模型写真、その他詳細図など設計意図を表現するのに必要と思われるものを各自選択して描いてください。縦使い、横使いを含めてレイアウトは自由。

表現方法は、鉛筆、インキング、着色、CGや写真などいづれも自由。

▼但し、以下の点に留意してください。

- ・パネル化の場合は、10mm以下のスチレンボード等に貼り付けて提出してください。
- ・粘土瓦を使用したイメージがわかりやすく表現されていること。
- ・送付に当たっては書類を折りたたまずに提出すること。
- ・入賞者にはデータをご提出いただきますので予め承ってください。

※ 応募作品の著作権は、応募者に帰属します。ただし、主催者および後援者が本コンクールの趣旨に基づいて作品発表、PR等に利用する場合には、応募者は無償でこの使用を認めて頂く事とします。

※ 応募者の個人情報適切に管理いたします。

※ 応募作品は一切返却いたしませんので、必要な場合は予め複製しておいてください。

■応募作品提出先

受賞事務局 〒444-1323 愛知県高浜市田戸町一丁目1番地1
全国陶器瓦工業組合連合会高浜事務所内
[TEL] 0566-52-1200 [FAX] 0566-52-1203
[E-mail] info@kawara.gr.jp

- 募集要項・応募用紙は下記ホームページからダウンロードできます。
受賞事務局(愛知県陶器瓦工業組合) <http://www.kawara.gr.jp/>
全国陶器瓦工業組合連合会 <http://www.zentouren.or.jp/>

- 瓦に関する情報は下記HPをご覧ください。(希望者には瓦/サンプルを送付)
受賞事務局(愛知県陶器瓦工業組合) <http://www.kawara.gr.jp/>
全国陶器瓦工業組合連合会 <http://www.zentouren.or.jp/>
石州瓦工業組合 <http://www.sekisyu-kawara.jp/>
淡路瓦工業組合 <http://www.a-kawara.jp/>

審査委員(敬称略)

- 委員長 富永祥子
(建築家 福島加津也+富永祥子建築設計事務所副代表 工学院大学教授)
- 委員 近角真一
(建築家 集工舎建築都市デザイン研究所代表 東京建築士会会長)
- 委員 原田真宏
(建築家 MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO主宰 芝浦工業大学教授)
- 委員 縄田俊之
(経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室長)
- 委員 小笠原憲一
(国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長)
- 委員 薄井幸夫
(全日本瓦工事業連盟理事長)
- 委員 野口安廣
(全国陶器瓦工業組合連合会理事長)
- 委員 木村博紀
(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)
- 委員 濱口健一
(全国陶器瓦工業組合連合会副理事長)

賞

- 金賞(1点) 賞状および・副賞10万円
- 銀賞(1点) 賞状および・副賞5万円
- 銅賞(1点) 賞状および・副賞3万円
- 佳作(5点程度) 賞状および・副賞1万円

※受賞点数については作品の審査結果により変動する場合がありますので、予めご了承ください。

発表

令和2年6月下旬～7月頃(予定)
審査の結果は入賞者に通知するとともに、日経アーキテクチュア7月23日号(7月21日発売)の誌面にて発表します。
併せて日本屋根経済新聞、左記HP等でも発表します。

表彰式

令和2年8月18日 東京都港区 建築会館ホール
(金、銀、銅賞受賞者は、必ずご出席をお願いします。)

主催

全国陶器瓦工業組合連合会 一般社団法人全日本瓦工事業連盟
後援
経済産業省国土交通省、一般社団法人日本建築学会、
公益社団法人日本建築家協会、公益社団法人日本建築士会連合会、
一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、
一般社団法人日本建築美術工芸協会、全国いぶし瓦組合連合会、
株式会社日本屋根経済新聞社